

⑧仕様

型式	EXSL-27
電源	AC100V 50/60Hz
蛍光管	FDL27
消費電力	-- W
点灯方式	インバータ
寸法	φ116×445
重量	3.0kg（ケーブルは除く）
防爆構造	ExdⅡCT5
適合ケーブル	3PNCT 3心 2sq
付属品	肩掛けベルト、反射板

※本仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

⑨故障・修理依頼・サービス

この製品に関してご不明な点がございましたら、お買い上げの販売店もしくは当社までご相談ください。

販売店

販売元

嵯峨電機工業株式会社

〒145-0076 東京都大田区田園調布南 10-5

TEL 03 (3758) 8691

FAX 03 (3759) 8263

ホームページ <http://www.sagaden.co.jp/>

製造元

島田電機株式会社

〒146-0081 東京都大田区仲池上 2-29-6

TEL 03 (3754) 1711

FAX 03 (3754) 6321

saga

保存用

ストロングライト 取扱説明書

耐圧防爆型ハンドランプ『EXSL-27』

この度はストロングライトをお買い上げ頂きまして、誠にありがとうございました。
お求めの製品を正しくお使い頂くために、この取扱説明書をよくお読みください。
尚、この取扱説明書は、いつでも見ることできる場所に大切に保管してください。

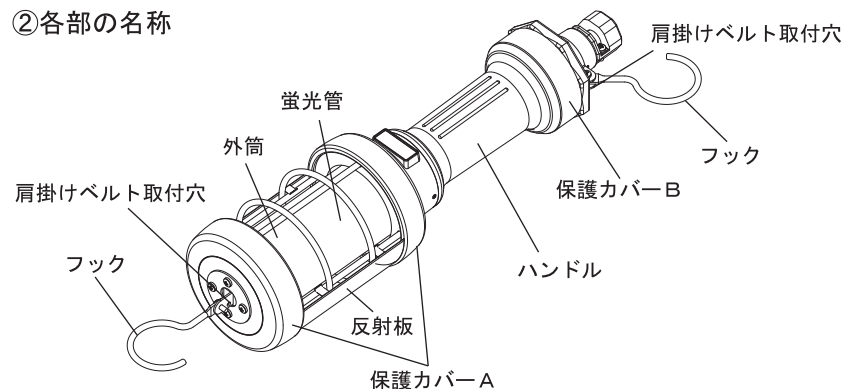
①取扱上のご注意



注意

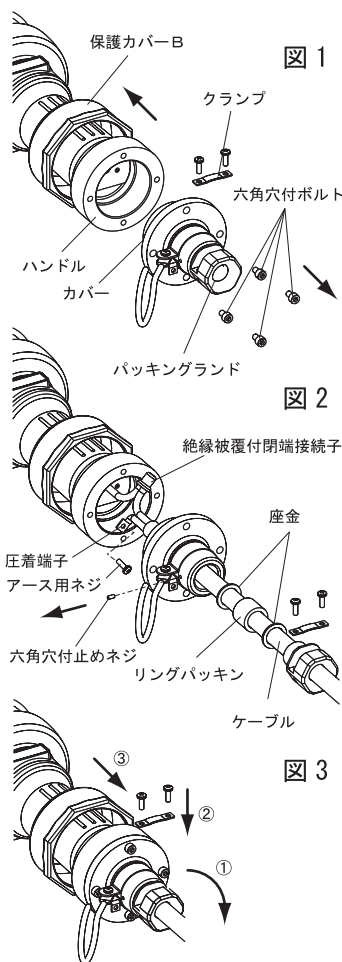
1. この製品はインバーター（電子基板）を採用しておりますので、電源周波数に関係なく使用できます。また、取り扱いには十分に注意してください。絶対に放り投げたり、落としたりしないでください。落下等のショックにより製品が故障（電子基板の損傷等）したり、蛍光管が破損したりすることがあります。
2. 製品の改造及び蛍光管以外の部品交換は、絶対にしないでください。製品の機能が低下したり故障の原因になるばかりでなく、感電や漏電等の事故のもとになり大変危険です。（蛍光管の交換は別途記載図の手順で行ってください。）
3. この製品は通常の作業環境に対応できるように設計されています。使用できる温度範囲は－10℃～40℃です。冷凍室や高温作業場や極端に温度の高い場所等では使用できません。
4. 製品に表示された定格電圧以外での電圧では、絶対に使用しないでください。定格以外の電圧でご使用になりますと故障、事故の原因となることがあります。
5. 電源電圧の変動は定格電圧の±6%以下の範囲でご使用ください。
6. ランプは必ず適合ランプ（FDL27）を使用してください。
7. ランプ交換、保守、点検の際は必ず危険雰囲気が存在しないことを確認して行ってください。
8. 接地工事は、電気設備技術基準、工場電気設備防爆指針にしたがって確実に行ってください。
9. 紙や布をかぶせたりして使用しないでください。製品の温度が高くなり、火災等の事故の原因となり大変危険です。
10. そのほか、製品に異常の見られる場合は直ちに使用を中止し、お買い求めの販売店に連絡してください。そのまま使用すると重大な事故につながる危険性があります。

②各部の名称



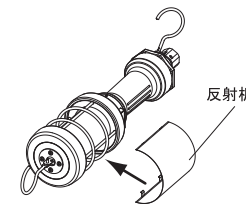
③電源ケーブルの接続方法

1. 保護カバー B を矢印の方向にずらし、六角穴付ボルト（4箇所）を緩めてハンドルからカバーを取り外してください。
2. カバーの六角穴付止めネジを緩めて、パッキングランド、リングパッキン、座金を外し、図2のように段剥きしたケーブル（3PNC3心 2sq）をそれぞれに通してください。
3. ハンドランプの口出線とケーブルを直接接続し（絶縁被覆付閉端接続子等を使用し絶縁に注意する）、内部接地端子にアース線を接続してください。この際、接続部分の線は短くしてください。
4. ハンドルにカバーを取付け、ケーブルの位置を調整してパッキングランドを回しケーブルを固定してください。この時、ケーブルが動かなくなってから更に1～1.5回転締め付けてください。（図3①）
5. クランプでケーブルを固定し、六角穴付止めネジを締め付けてください。（図3②）
6. 保護カバー B をもとの位置に戻してください。（図3③）



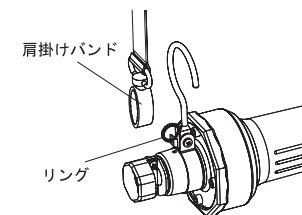
④反射板の取付方法

反射板を若干広げながら、カバーの支柱に取付けてください。



⑤肩掛けベルトの取付方法

2つフックの取付部の穴にそれぞれリングを取付け、肩掛けベルトを取付けてください。



⑥蛍光管の交換方法

※蛍光管の交換は必ず非危険場所（爆発性ガスの存在しない場所）で行ってください。

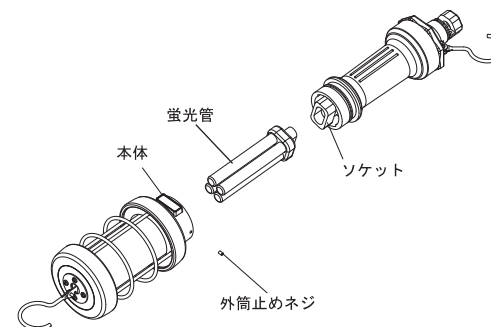
※蛍光管の交換をする時は、必ず電源を遮断してから行ってください。

電源が供給されたままの状態で行うことは絶対にしないで下さい。

※消灯後しばらくは、蛍光管は高温ですので、十分に注意してください。

※蛍光管の交換は次の手順で行ってください。

1. 六角穴付止めねじを緩め、本体を回して取り外してください。
2. 新しいランプと交換し、本体をハンドルに取付け六角穴付止めねじを締め付けてください。



⑦長くお使いいただくために

製品を安全に長く使用していただくために、定期的に（1週間に1回程度）点検を行ってください。

- ・本体やコードに損傷はないか。
- ・ねじや部品に緩みはないか。
- ・蛍光管の点灯状況は良いか。

製品のお手入れの際に、部品をガソリンやシンナー、ベンジン等の揮発物で拭いたりしないでください。変色や破損の原因となります。汚れがひどい場合には、やわらかい布を中性洗剤に浸し、よく絞ってから拭き取ってください。